

2026年6月14日

技術研修会「HF帯の運用とパソコンの活用」実施報告

JARL 鳥取県支部

開催概要

JARL鳥取県支部では、2026年6月14日(土)米子市淀江文化センター第2会議室において、技術研修会「HF帯の運用とパソコンの活用」を開催しました。本技術研修会は、HF帯の運用に興味をお持ちの方向けに、運用方法の概要や運用の楽しみが広がる、Turbo Hamlog, hQSL, FT8等パソコンの活用方法を習得することを目的として開催されたものです。

目的

本技術研修会は、「HF帯の運用とパソコンの活用」について以下のようなアマチュア局の皆様を対象として企画・開催されました。

- ・HF帯の運用の楽しみ方
- ・hamlog・hQSLを使った利便性の向上
- ・FT8等の概要紹介も兼ねた、楽しみ方の拡大

開催日時・場所

日 時: 2026年6月14日(日) 9:30～12:00
場 所: 米子市淀江文化センター第2会議室(鳥取県米子市淀江町)

参加者

参加人数: 13名

プログラム内容

今回は座学と実機を見ながらのデモ運用にて基本的な内容を習得しました。
(座学)

1. 目的
2. HF帯とは
3. HF帯の楽しみ方
4. 運用モードの種類
5. hamlog の活用
6. hQSL の活用
7. FT8 の概要
8. HF運用 × パソコン活用のメリット
9. まとめ

(実演)

FT8の運用

成果・所感

今回の技術研修会では、日頃から運用されている局による実演が行われ、非常に興味深く、有意義な研修会となりました。

冒頭、概要についての講話の後、実際の運用をご披露いただき、参加者の理解が一段と深まったと感じています。

また、「昔はアマチュア無線をしていたが、最近はなかなか触れる機会がなかった。デジタルモードにも興味があり、今回が良いきっかけになった。」という声も複数寄せられました。こうした反応からも、今回の研修会が参加者にとって有意義な時間であったと確信しています。

普段はなかなかお会いする機会の少ない方々とも、共通の趣味を通じて時間を共有できたことは大きな収穫でした。

アマチュア無線という共通の話題が、参加者同士の交流をより深めてくれたと感じています。

今後の課題・展望

オンラインまたはオンラインと対面のハイブリッド開催による参加機会の拡大
技術研修会のテーマ検討・支部会員からの要望等の情報収集

まとめ

技術研修会は盛況のうちに無事終了しました。ご参加いただいた皆様、開催に向けてご準備いただいた支部役員の皆様に心より感謝申し上げます。今後も支部会員の皆様の技術力向上に貢献できるよう、継続的な技術研修会の開催を目指してまいります。なお、技術研修会のテーマについてご要望等がございましたら、支部あてにご連絡いただきますようお願い申し上げます。

写真:



会場:米子市淀江文化センター



技術研修会の様子